

絆・腐れ縁

小林守城

はやり言葉の絆を
公約に掲げる政治家
なにはともあれ
絆を腐れ縁という増上慢

格好をつけてる気の
身の程知らず
見たくもないが
確かに聞えてしまうもの

親しみを込めたつもりの
狡猾な言葉づかい
お望みなら
詩を放り投げて
こちらから先に
切ることにするか

政治家のいのちも愛も
そこに生きねばならぬ筈

絆よ・柵よ
腐れ縁なら去るがいい

痛ましく忌々しい言葉
腐れ縁という前に
絆や柵に留めるように
自らをどれだけ諫めたか

たとえどうあろうと
使ってならない
最後の言葉だ